

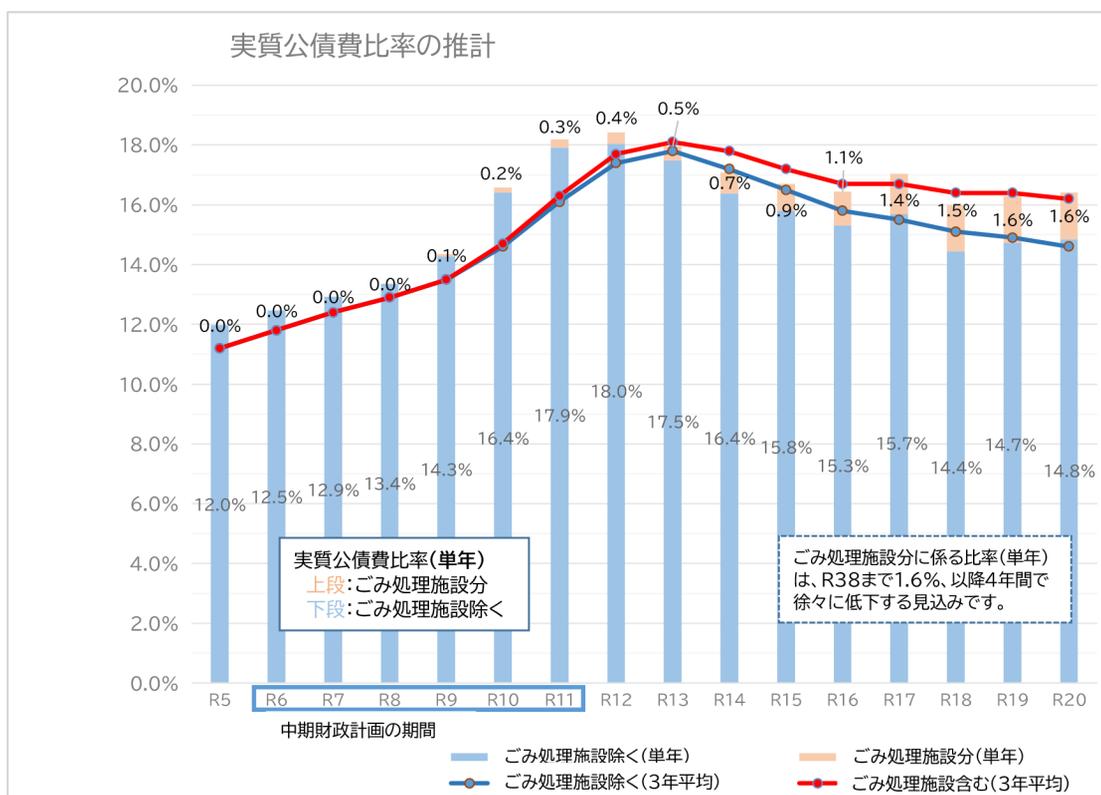
令和7年6月定例会 所感



前回、「よしひら通信18号」において、**雲南市の財政悪化**を皆様にお知らせしたところですが、6月議会の市長施策方針において、次期一般廃棄物処理施設の整備事業について建設資材の高騰（当初予定120億円が180億円に値上がり見込み）に伴い、**このまま建設した場合、財政に及ぼす影響が大きなものとなる**ことを懸念し、白紙撤回となりました。

財政に及ぼす影響とは、今回の投資を行うにあたり当然借入を行う（地方債の発行）ことになり、令和11年から借入金の返済が始まる頃に**公債費比率が18%を超える**可能性があり、この比率が高くなると他の事業にあてる財源も圧迫することになる上、今後、地方債の発行には総務省の許可が必要になってくるからです。

白紙撤回の裏にある、雲南市の**危機的財政状況**を解説します



雲南市の財政は、2年前から悪化傾向にあったため、私はコストカットを軸とする支援案（小中学校統廃合等）を市に対して提案してきました。今後もこの提案は継続していきたいと思えます。

実質公債費比率(3年平均) (単位：%)

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
ごみ処理施設含む	11.2	11.8	12.4	12.9	13.5	14.7	16.3	17.7	18.1	17.8	17.2	16.7	16.7	16.4	16.4	16.2
ごみ処理施設除く	11.2	11.8	12.4	12.9	13.5	14.6	16.1	17.4	17.8	17.2	16.5	15.8	15.5	15.1	14.9	14.6
差引(施設分)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.6	0.7	0.9	1.2	1.3	1.5	1.6



令和7年6月定例会

6月議会では、雲南市民の皆様の安心安全を中心に質問しました。

質問 1

公共施設が危険な状態

問 三刀屋町アスパルの北側陸橋は、簡単なバリケード誰でも進入可能で危険。加茂テニスコートは、修理した場所が段差となり危険。市民の安全についてどう考えるか。

回答・総務部長（鐘撞 征司）

公共施設の安全管理は、事故防止・安全確保・予備的保全を図るため、日常点検や施設診断を随時実施し、危険箇所は速やかに使用禁止・立入禁止・応急修繕などの措置を講じている。修理に多額の費用を要するものは、方針決定や調整等に時間を要することがあるのを御理解をいただきたい。

意見

これらは以前市民から改善要望が出ていた案件であり、市がしっかりと対応しないことから「議会と語ろう会」で改めて要望があった。

特にアスパルの立入禁止措置は、あまりにも不十分（欄干が腐食し転落の危険もあった）であり、私も現場を見た瞬間危険と感じ、すぐに改善を要望した。数日後、市は頑丈なバリケードを設置したが、市民は対応の遅さを不満に思っている。

質問 2

消えかけている横断歩道

問 市内の各所に「消えている」または「消えかけている」横断歩道がある。市民の安心・安全の観点から、この状況をどう考えているのか。

回答・防災部長（女鹿田 比文）

横断歩道や信号機、その他の道路標識は交通規制の一部であり、管理や修繕等は島根県公安委員会が行っている。道路点検で発見したものや市民からいただいた情報は、逐次公安委員会に改善要望を行っている。

回答・教育長（小田川 徹哉）

毎年、雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の危険箇所の抽出調査を行っている。修繕が必要と判断された場合は、雲南市通学路安全推

進会議より改善要望を公安委員会に行うとともに、市建設部・防災部と連携しながら修繕を働きかけている。

意見

多くの修繕箇所がある。公安委員会に対して市民の安全確保の観点から早急に修繕して頂けるよう引き続き対応して頂きたい。

市民の安全確保は、横断歩道だけではなく。**昨今の異常気象により100年に一度の大雨が頻繁に降ることから、地域を守るための巡回調査が市民の安全確保には不可欠だ。**

質問 3

猛暑時の通学支援について

問 昨年の夏は、猛暑で通学時に体調を崩した子供がいたため、急遽バスでの登下校となったと聞く。今年の気象庁の予想は、平年より温度が高く早めの熱中症対策が必要と言っているが、今年の熱中症対策を伺う。

回答・教育長（小田川 徹哉）

昨年度の熱中症対策は、通学距離の長い児童をスクールバスの臨時便で登下校対応を行った。今年度も、昨年度臨時便で対応した学校について

7月から9月中旬ぐらいまでスクールの臨時便対応を予定している。気象状況を注視しながら児童生徒の安全確保に努める。

意見

今回の一般質問は、以前市民から市役所に提出されていた案件だが、出された案件に対して市の対応が不十分で市民は不安・不満を抱えている。

その根本原因は市民の要望に対して**市の検討状況が市民に報告されず経過がわからないこと**にあり、市として市民への「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」ができていないためだ。

市長は、「市民の満足度を高めるための方ほうれんそう。ちよつとした気配りで大きく違ってくる」と認識している。今後も市民の皆さんに寄り添った対応をしたい。」と話されたが、これから雲南市役所が、市民に寄り添い、気配りができる活動を期待したい。

その他の質問は、議会動画アーカイブをご覧ください。

議会動画
アーカイブ

